

# 25年度予算 特別委員会審査 小さな



陸上競技場改修予定地

市民のスポーツと健康増進などのニーズに 대응するため、雨天に左右されない陸上競技場トラックの全天候化及びスタンドの改修を行います。フィールド内は人工芝を敷きつめ、トラックはゴムチップウレタン舗装仕上げされます。また同時にウォーキングロード整備や新設駐車場(523台)の整備も合わせて行われます。市民が利用するうえで不便が生じないように改築工事が行われます。

## 赤間総合運動公園がリニューアル

## 汚水処理施設建設へ



恩納第一地区汚水処理施設建設予定地。また恩納第一地区管路工事も、継続事業として行われ環境にやさしい施設として、早期の供用開始が望まれます。

## 太陽光発電を使って農業用水を流します

仲泊地区の畑地かんがい施設が今年度内に稼働することになりました。太陽の光エネルギーを利用して電気に変え、それを売電して夜間の安い電力で貯水池からファームpond(貯水タンク)に送水する自然流水の仕



恩納村文化情報センター(図書館)完成予定図

## 待望の図書館建設が始まります

昨年からはじめた沖繩振興特別推進交付金(一括交付金)を活用して村民の知的活動を支援し、また、国内外から訪れる観光客に郷土の歴史、文化等の「学びの観光」を提供し本村並びに北部地域の観光情報を発信することを目的に恩納村文化情報センターが建設されます。施設内には図書館や観光情報発信基地としての機能が備わっています。今後は一括交付金で資金を調達

## 駐車場を増設します

農水産物販売センター(おんなの駅)では近年、各地域や観光客などの集客が年々増えている傾向にあり村の観光リゾート産業発展の土台になっています。その中で来客の駐車場施設が大変不足している状況にあるため今回増設工事を行います。委員会では、もっと多くの駐車台数が必要ではないかとの提言もありました。

### 25年度事業・踏査箇所

行政区	工事名
安富祖	安富祖ダム転流工事:ダム本体工事
瀬良垣	瀬良垣区交流施設新築工事(公民館)
恩納	観光地観光客安全対策事業防犯カメラ設置工事
"	農業基盤整備促進事業(農道舗装)
太田	農業基盤整備促進事業(農道舗装)
南恩納	恩納第一地区管路工事
"	恩納第一地区汚水処理施設建設工事
"	赤間陸上競技場改修工事
"	赤間運動公園電気室新築工事
"	赤間屋外運動場改修工事
仲泊	仲泊小中学校防球ネット設置工事
"	仲泊地区農業用施設整備工事
"	仲泊地区農業用水太陽光発電施設整備工事
"	文化情報センター建設工事
"	農水産物販売センター駐車場改良工事

記事担当 大城堅三・長浜善巳

# ことやりますよ!

一般会計 83億1千万円  
特別会計 24億1千万円  
水道事業会計 6億3千万円

可決

## 平成25年度総額113億円の予算が可決

3月定例会に於いて、村長から施政方針に基づく平成25年度の一般会計と特別会計の予算が提案されました。議会では、議長を除く全議員から構成された「予算特別委員会」を設置し委員会では、関係課長、職員に出席を求め、各事業案が適正に計画されているかなど、慎重な審査が行われました。予算案は、委員の全会一致で可決されました。

予算種別	平成25年度予算	前年度比(%)
一般会計	83億1,039万円	136.7
国民健康保険特別会計	14億669万7千円	100.3
後期高齢者医療特別会計	9,721万1千円	104.1
下水道事業特別会計	9億2,020万6千円	156.1
水道事業会計	6億3,582万6千円	96.4

### 一般会計の財源内訳

	平成25年度予算	前年度予算
国県支出金	30億6,558万6千円	12億4,109万1千円
地方債	6,600万円	0円
その他	9億3,939万9千円	8億3,491万円
一般財源	42億3,940万5千円	40億538万7千円

### 一般会計の財源内訳

	平成25年度予算(比率%)	前年度比(%)
自主財源	35億9,946万1千円(43.3)	111.2
依存財源	47億1,092万9千円(56.7)	165.7

## 安富祖ダム 本体工事へ動き出す

この事業は、安富祖区民が、地域住民の生活安定及び環境衛生等、また水害や防災対策を図る目的として、長期にわたり建設の実現に向けて取り組んできました。平成23年度から始動し、工事用道路整備、転流工事に続き、いよいよ本体の基礎工事がおこなわれます。工事の規模としても、近年にない大型工事で、平成29年度の完成予定に向けて、整備工事が実施されます。

## 瀬良垣区・待望の

## 交流施設建設へ

「キャンプ・ハンセン等周辺まちづくり基本構想」が策定され、その一環として村が推進してきた「恩納村まちづくり実施計画」の事業で、平成24年度は地質調査と実施設計が行われ、今年度の完成予定に向け建設に着手します。公民館の老朽化にともない、区民が待ち望んでいた施設で、地域のコミュニティの拠点として、地域活動や文化活動、また伝統芸能による国際交流施設としても、期待されます。



瀬良垣区交流施設完成予想図

**質** 公民館建設の推進について  
 村長の施政方針から質問致します。一点目に公民館建設の推進について、であります。各種団体、豊年祭、区民総会等多岐に使用され、公民館を核として区民生活を送っております。敷地の狭さ、コンクリートの剥離、事務所が手狭となり建設に向けて取り組んでいます。土地や建設費の問題で今だ実現に至ってない現状でありますと施政方針では述べております。行政の手助けとなることはどういうものが質問致します。



◆◆◆◆◆  
**仲田 豊 議員**  
 ◆◆◆◆◆

**公民館建設の推進について**

**質** 二点目の景観づくりの推進について、村民に対してどのようなメリットがありますか。  
**答** 企画課長 佐渡山安正  
 村の環境保全条例等で補完されていない建物や工作物に対する景観誘導を行うことができます。デメリットはないでしょうか。

**景観づくりの推進について**

**答** 村長 志喜屋文康  
 具体的な取り組みとして、村有財産の活用又は建設事業費等への支援拡大等に向け検討を行っています。村より浄化槽の整備費等に関し1千万円、教育委員会から体育用施設、備品費として200万円以内、伝統芸能に関する音響備品費として70万円以内が助成され合計1千270万円です。今後、積極的に国に補助メニューを検索し、できるだけ地域の方々の負担が少ない形で支援費の補助・拡充をはかっていきたいと思っています。

**質** 三点目に農業振興についての質問です。本村の農業生産では花卉類が多く小菊、切葉のドラセナが拠点産地に認定され安定した出荷が望まれます。しかし、農業従業者も高齢化で生産量の減少につながり年々低価格も生産意欲の減退を招いている現状です。花卉、小菊、ドラセナ等は、関係機関と連携して責任ある産地形成を推進するかを述べております。どう推進するか伺います。  
**答** 農林水産課長 仲嶺真季  
 引き続き各出荷団体、関係機関と連携し、園芸施設の導入、観葉植物に於いても出荷団体関係機関と連携し拠点産地に向け

**農業振興について**

**答** 企画課長 佐渡山安正  
 建物の色、形、場合によっては壁面のセットバック。これは敷地からの境界からいくらか建物を後退させるか、景観の配慮を個人にお願いするようになります。



盛花

取り組んで行きたいと考えます。

**一般質問**

Onna Village Assembly  
 第2回恩納村議会定例会 平成25年3月14日

**今回の質問項目**

(○は今回掲載された質問です)

仲田 豊 議員 電話960-8338 P-5 大城堅三 議員 電話966-2393 P-10

- 公民館建設の推進について
- 風景づくりの推進について
- 農業振興について
- 学校教育の充実について

- 平成25年度施政方針
- 漁業関係について

宮崎 豊 議員 電話966-2458 P-6

- 公共施設の保守点検管理
- 恩納村職員の現状と今後の計画
- 一括交付金活用事業の推進状況
- 台風被害を受けた農業の回復状況
- 太田「恩納ぐすく」がけ崩れ復旧

喜納正誠 議員 電話964-2580

- 天皇行幸啓について
- 公民館建設について

長浜 善巳 議員 電話965-2100 P-7

- 農林水産業の振興について
- 商工観光の振興について

吉山盛次郎 議員 電話965-0669 P-11

- 景観条例について
- 村長の施政方針
- 県道6号線(山田以南)の道路状況について

又吉 薫 議員 電話966-2911 P-8

- 子育て支援、待機児童の現状と対策など保育所行政について
- 保育園の民営化について

長嶺律夫 議員 電話966-2750 P-12

- 施政方針から
- 村条例の公開は
- 汚水処理場施設設置について
- 海岸利用について

山内 鈴子 議員 電話966-3468 P-9

- 村立保育所の運営について
- コミュニティーセンターのトイレ改造工事について

金城 弘 議員 電話967-8018

- 分収金について
- 防災について

議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、会議録に基づいて各議員が800字以内にまとめ、議会広報委員会が会議録で最終確認したものを掲載しております。

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。  
 また、村ホームページ(会議録)からも検索できます。

宮崎 豊 議員



公共施設の保守点検管理

点検修繕等の実施計画

定期的な修繕計画はありませんが、大規模修繕は築30年頃から発生します。築60年で建替え計画。

普段の手入れがひよっとしたら30年たっても5、6年のような状態になるかもしれない。

総務課長 名城淳一  
延命化を図る為に、年次的に予算を計上して修理はしています。

す。一昨年、施設整備基金を設けて長期的なスパンでの対応を考えています。

恩納村職員の現状と計画

職員、臨時職員数

総務課長 名城淳一  
正職員131名、委託職員89名、臨時職員54名です。

委託、臨時職員の説明

総務課長 名城淳一  
委託は月給制で継続、臨時は日給制で半年更新です。

課ごとの人数に変動

総務課長 名城淳一  
正職員はありません。福祉健康課、厳しいと課長から話があり、増員検討が必要と思っております。

課長人選の基準

副村長 池宮城秀光  
課長は村長の公約及び施政方針に乗っ取り、行政を執行するスタッフとして重要な地位にあり、実績、経験年数等を考慮しています。

職員の昇任試験

総務課長 名城淳一  
このようなシステムはございません。

隣では女性大統領が誕生した。若い人、女性の活躍を村長どう考えていますか。

村長 志喜屋文康

女性の課長登用できなかったことは大変残念です。ただ係長として昇任させた2人の女性があり、村を担っていく方になると期待しています。

有能な方の飛び昇給の考え方を持っておるか。

村長 志喜屋文康

新たな発想をやる若い方の登用は考えてます。

役場内に総合案内を配置

村長 志喜屋文康

各課で挨拶をしつかり行い、徐々に結果が見えていくと期待している。

一括交付金活用事業

文化情報発信拠点(図書館)

教育課長 富山欽也

台風被害を受けた農業の回復状況

被害報告

農林水産課長 仲嶺真季

パッションは相当の出荷減、2期目以降例年並みに推移すると思う。2期目以降例年並みに推移していくと思う。マンゴーは個人差あるが塩害が多かった。観葉は回復まで2、3年必要。キビは例年目標6千500t、昨年3千100t、今年は3千100tにも足りないかと推測。

今後の生産に及ぼす影響

農林水産課長 仲嶺真季

パッション24年度は14tですが、25年度目標10tに下げている。アテモヤは塩害により落葉した成園が見受けられ、1年間養成し次の生産に繋げられない。

長浜 善巳 議員



農林水産業の振興について

農業振興を図る上で、ビニールハウスや平張施設などの整備充実が欠かせない、今年度ほどのように進めていくのか。

農林水産課長 仲嶺真季

災害に強い栽培施設の整備事業、一括交付金80%を出荷団体を実施し、県に現在JAの方から要望中。

今年の4月から熱帯果樹のスペシャリストである農業経営アドバイザーに変わるが、これまで行ってきた熱帯果樹作物の推進はどのように考えるか。

農林水産課長 仲嶺真季  
本人から辞退させてもらいた

い、後任の方には是非ゆずらせてもらいたいという事がありました。今後は村園芸活性化協議会計画に於いても専門的な農業の知識を有する方を招き講習会を実施、営農指導協議会に於いても生産農家の経営安定につなげていきたい。

これからの農作物は付加価値のあることが重要であるとおっしゃっております。どう考えるのか。

村長 志喜屋文康

観光と特化した農業が恩納村において大事だと考えている。伊芸先生について、我々はこれからも力が必要であると考えています。年に数回、先生の講習会等を開催し、生産者の方々の不安を解消する為にやっていきたい。

村のゆうな、村の木ふくぎが制定されております。樹齢の古い木などが立ち枯れている状況も見られます。調査したか。

農林水産課長 仲嶺真季  
ふくぎが合計4千937本、防風林として使われた。近年のふくぎに黄化衰退し仮死する個体

商工観光の振興について

おんな街道フェスタや春や春おんなウィークで楽しませたい、今後の展開。

商工観光課長 平良幸夫  
事業計画としておんなグルメの開発、体験プログラムの開発集客イベントとの連携を商工会中心に取り組んでいく。

今後継続的に行うには自分達でその地域やまつりを企画実行していかなければいけない芸大のOBのメンバーが近く恩納村を拠点に法人を立ち上げて活動する。今後の村の考え方。

村長 志喜屋文康

地域の組織、誘客を私としてもアドバイスしていきたい。芸大OBの方もしっかりとしたかたちで根付くという事も大変大事だ。協力します。

又吉 薫 議員



子育て支援、待機児童の現状と対策など  
保育行政について

誰もが安心して子供を産み育てられ、少子化問題を改善し、

恩納村が持続的に発展するためにも優先度の高い課題ではないかと考え質問します。村立保育園、私立保育園を合計した募集定員は何名か、実際の入園児童は何名か、村内の就学前児童は村外、村内、公立、私立も含めた保育園児数、その人割割合は、  
**答** 福祉健康課長 大城保篤  
公立保育所、190人、認可外が

188人、合計で378人。366人が入所。就学前児童631人、入園割合について、村外の認可は把握困難、それを除く村内の私立に入園する児童は270人で42.8%になります。

**質** 村立保育園の待機児童数は何名か、待機児童についてどう検討され、対策は25年度予算でどう措置、執行されるか。  
**答** 福祉健康課長 大城保篤  
待機児童数は32人です。対策は定員の弾力化受入れで28人多く受入れ、待機児童対策特別事業で認可外保育園に対し、ミルク・米等の補助を実施し、処遇の改善を図っております。

**質** 村内の私立保育園には村立保育園への入園を希望する潜在的な待機児童入園している、その私立保育園は、村の保育行政の補完的な役割を担ってきた、私立保育園に対する補助及び助成はどう行われ、25年度予算でどう変わったか。  
**答** 福祉健康課長 大城保篤  
健康診断、牛乳代、米代、用具購入及び施設修繕費があり、

教材費、行事費及び職員研修費は村の単独助成です。25年度から児童1人当たり単価を上げる予定。現物給付は補助金に変えます。

保育園の民営化について

**質** 民営化を推進する目的、期待される点はなにか。  
**答** 福祉健康課長 大城保篤  
厳しい財政状況の下、既存の保育体制に新たなサービスの提供拡充は困難。多様化する保育ニーズに対応し、効率的な特色ある保育行政を目指すため、選択肢を与えることです。

**質** 民営化の方法には色々考えられます、検討委員会では基本方針は決まったか、全ての村立保育所を民営化するのか。  
**答** 副村長 池宮城秀光  
保育所の安定性や継続性から一園民営化したい。

**質** 基本的に社会福祉法人に移管と考えられている、村外も含め対象として考えられるのか。  
**答** 副村長 池宮城秀光  
が出来次第、説明会も行って参りたいと、25年度の1月から3月の間か、26年度に入ってからすぐだろうと考えております。

**質** 民営化になった場合の保育料は、どのように検討されますか。  
**答** 村長 志喜屋文康  
これから検討する段階で具体的な事が決まった時に、村民の方々に説明を申し上げます。現段階では、そんな変わることはないと思っています。

**質** 委託、臨時職員においてもアンケートも取られているんですか。  
**答** 副村長 池宮城秀光  
委託、臨時職員になった場合には「保育所は民営化になるからあなたたちは解雇」と通知なさるんですか。

**答** 副村長 池宮城秀光  
民営化するときの条件として委託、臨時職員は引継いで条件をつけていきたいと考えております。

副村長 池宮城秀光

県内の法人を想定し、村内の認可外保育施設、企業は検討しておりません。



村営保育所

山内 鈴子 議員



村立保育所の運営について

**質** 施政方針において、保育所の民営化を推進するために、検討委員会により効果的運営方法を協議していきますと述べられています。平成24年度は何回民営化委員会が開催されたのか、また協議内容についても伺います。

**答** 福祉健康課長 大城保篤  
構成員は副村長、税務、村民教育課長、総務課長、企画、3保育所の所長、私は事務局を司っています。平成24年7月18日

に1回開催されております。それから最近問題となった民営化できなかった裁判例というのがございましてこの部分の調査もしております。公立と法人のメニューの差の議論です。保護者や保育士の意見や要望を方針に反映すべきであると、移管する際の基準、反映すべきか否かという議論しています。保育士には21年度にアンケートを取っています。

**質** 保育士の民営化を実施する前に村民への説明についての見解を伺います。  
**答** 副村長 池宮城秀光  
検討委員会の中では、職員、保育士のアンケートも取りました。保護者のアンケートも、まだのところであり。民営化することについては、保護者はじめ村民の方に説明会を実施していきたいと思っております。

**質** いつ頃から村民への説明会はなさっていくんですか。  
**答** 副村長 池宮城秀光  
検討委員会最終的なまとめがまだ出来ておりません。それ